

市民の声

生涯学習市民開放プログラムを受講して

船木 由起子

私が生涯学習市民開放プログラムを受講して、早いもので7年目になります。以前福井で放送大学が開始された時に受講しましたが、テープを聞くか教科書を読むだけなので物足りず、挫折しました。ですから、福井大学の市民開放講座を受講できると解った時に、直ぐに申し込みました。大学に縁の無かった私にとって絶好の機会ですし、少しでも学ぶ意欲のあるうちに、と思ったからです。色々な事に興味を持ち、少しでも楽しいシニアライフが送れる様に、今からぼちぼち準備をしておきたいとの思いもありました。

これまでに歴史、美術関係、政治、経済、地球環境、バイオの世界、アメリカ文学、フランス文学、ヨーロッパの映画等興味のあることを学期ごとに1科目受講しました。最初の授業は歴史でした。中学、高校の授業で何時も時間切れになって終わってしまう昭和初期から終戦あたりの歴史の流れを学びたかったのですが、広島、長崎の原爆の事をとても詳細に学びました。私の思いとは全く違った授業でした。

絶対に休まず受講したいと思ったのが、フランスの映画の授業でした。解説付きで映画を見るのが授業なんてこんなに楽しい事はありませんでした。勿論、短編は全部見られましたが、長編は肝心な所だけですが、本当に短い世界最初の映画「工場の出口」やそれに続く「列車の到着」、奇想天外な「月世界旅行」を見ることが出来ました。他にも色々な映画を見ましたが機会があったら「戦艦ポチヨムキン」を是非見たいと思っています。

レポートや試験に関係の無い私達だから言えるのですが、1つのテーマで年間通しての授業は出来ないのでしょうか。

これからも出来るだけ続けたいと思っています。